

静岡県メディカルコントロール協議会作業部会の開催状況等

1 静岡県メディカルコントロール協議会作業部会の開催状況

日時	主要な議事	合意事項等
第1回 R3.9.30	○ 部会長の選出	⇒早川委員(聖隷三方原病院)を選出
	○ 実施基準の運用状況の検証 令和2年7月から12月までの状況について事務局より報告	⇒全体の99%以上が照会時間30分未満、照会回数5回以下で搬送先が決定
	○ 「傷病者の搬送及び受け入れに関する実施基準」に係る医療機関リストについて 地域MCからの意見をもとに修正	⇒リスト修正について了承
	○ 指導救命士の認定について 各消防本部、地域MC協議会から推薦された1人の経歴書等を確認	⇒特に支障はなく、県MC会長へ報告後に承認
	○ 救急救命士の処置拡大2行為に係る追加講習 県消防学校にて11~12月(4日間)を行う救急救命士の処置範囲拡大に係る追加講習について事務局から説明し、講師等の依頼を行う	⇒講師決定
	○ 救急安心センター事業(#7119)の実施検討について 当事業について事務局から説明	⇒本県で導入する上での課題等を次回作業部会で議論
第2回 R3.12.9	○ 指導救命士の認定 各消防本部、地域MC協議会から推薦された1人の経歴書等を確認	⇒特に支障はなく、県MC会長へ報告後に承認
	○ 救急安心センター事業(#7119)の本県での導入について 本県での事業導入について事務局から説明	⇒導入については概ね了承。具体的な実施方法等の検討は次回に議論
第3回 R4.2.3	○ 実施基準の運用状況の検証 令和3年1月から6月までの状況について事務局より報告	
	○ 救急安心センター事業(#7119)の導入方法等について	

2 地域MC協議会の活動状況(見込含む)

(1) 協議会等開催状況

地域MC名	協議会	作業部会・事後検証会	その他
賀 茂	1回 (2~3月)	作業部会1回(2~3月) 事後検証会1回(2~3月)	救急隊員等研修会(11月)
熱海・伊東	1回(3月)	事後検証会1回(3月)	救急隊員等研修会(11月)
駿 東 田 方	1回(6月)	運営委員会1回(12月) 研修部会2回(3月) 事後検証会2回(1,3月)	駿東田方地域MC協議会構成消 防本部担当課長会議(4月) 通信指令担当者会議2回(12,2月) 救急隊員等研修会3回(10,11,2月) 気管挿管再教育研修会1回(2月)
富 士	1回(8月)	作業部会4回(4,7,10,12月) 事後検証会3回(6,12,2月)	プロトコール運用講習会4回 (4,7,10,1月) 研修会1回(11月)
静 岡	3回 (6,12,2月)	検証専門部会8回 (5,6,10,12,1(2回),2,3月) 推進専門部会3回(5,10,2月) 教育専門部会5回 (9,10,11,1,2月)	症例検討会2回(9,12月)
志 太 榛 原	1回 (11月)	検討委員会4回 (6,9,11,3月) 病院毎の事後検証会を複 数回実施	
中 東 遠	1回(6月)	事後検証会2回(6,9) 作業部会4回(6,9,12,2月)	新生児蘇生法研修会1回(10月) PSLS講習会及びPCEC講習会 1回(10月) 静岡県西部地区救急隊員技術 研修会1回(12月) 病院前外傷救護講習会1回(1月)
西 部	1回(4月)	推進者会議4回 (5,10,1,3月) 事後検証会4回 (6,9,11,2月)	JPTEC更新コース5回 (5,9,10,11,2月) 周産期救急に関する講習1回(3月)

(2) 検討事項等

ア 協議会

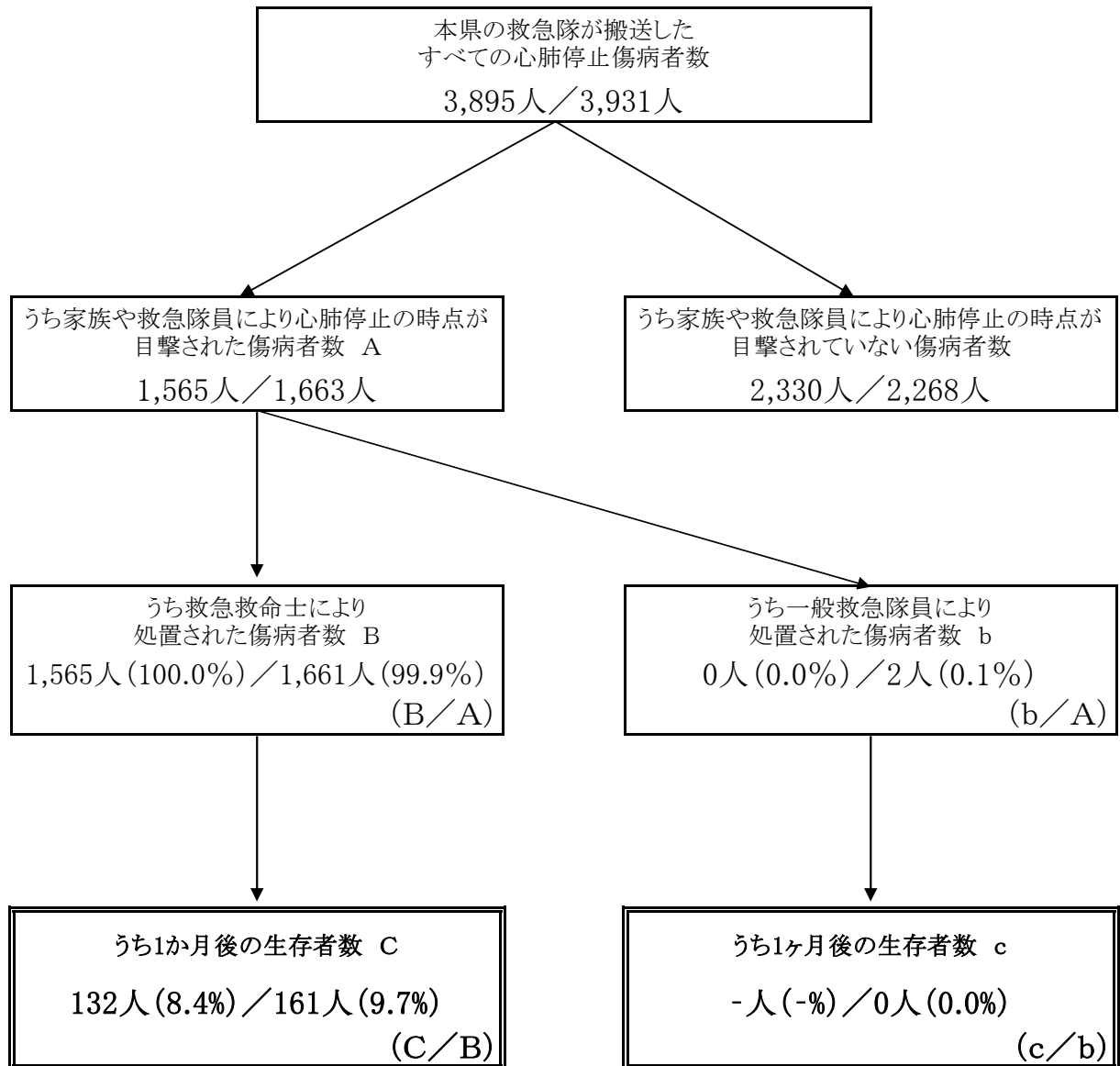
- ・ 事業計画策定、進行管理、実習病院の確保 等

イ 作業部会・事後検証会

- ・ 事後検証票による症例検討、症例検討結果のフィードバック
- ・ 各種講習会等の企画、実施

3 救急救命士活動状況

左欄(令和2年1月～12月)
右欄(令和元年1月～12月)



処置／実施件数	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年
除 細 動	397	368	325	372	366	342	299	-
気 管 挿 管	165	175	138	169	195	194	205	279
薬 剤 投 与	771	792	872	880	1,365	1,553	1,547	1,712

気管挿管及び薬剤投与等講習・実習の実施状況等

1 気管挿管

(1) 消防学校等における講習の実施状況（講習修了者数）（単位：人）

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	合計
61	38	10	51	54	42	18	12	286

* 県消防学校での追加講習は、平成 23 年度をもって終了

* 平成 16 年 4 月 1 日以降に実施の救急救命士試験合格者は、気管挿管に係る追加講習を受講する必要なし

(2) 病院実習の実施状況（実習修了者）（単位：人）

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
17	21	35	42	41	35	47	51	49	48
H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	合計	
46	42	40	52	47	50	24	21	708	

* 令和 3 年末までの実績

* 令和 2 年度及び令和 3 年度の認定証交付状況は資料 3-2 のとおり

(3) 運用実績

① 運用隊数・運用人数 164 隊 511 名

② 気管挿管症例数（単位：症例）

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
21	60	140	126	129	127	148	147	159	141
H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	合計	
165	175	138	169	195	194	205	279	2,718	

* 令和 3 年末までの実績

2 薬剤投与

(1) 消防学校等における講習の実施状況（講習修了者数）（単位：人）

H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	合計
44	62	61	68	62	40	27	364

* 県消防学校での追加講習は、平成 23 年度をもって終了

* 平成 18 年 4 月 1 日以降に実施の救急救命士試験合格者は、薬剤投与に係る追加講習及び実習を受講する必要なし

(2) 病院実習の実施状況（実習修了者）（単位：人）

H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
25	63	74	75	59	44	30	2	1	1
H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	合計		
0	0	0	0	0	0	0	374		

* 令和 3 年末までの実績

* 上記のほか、特例での認定者 3 人（平成 26 年度 2 人、平成 28 年度 1 人）

* 令和 2 年度及び令和 3 年度の認定証交付は実績なし。

(3) 運用実績

① 運用隊数・運用人数 181 隊 769 名

② 薬剤投与症例数 (単位：症例)

H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
60	176	304	471	552	642	799	763	771	792
H28	H29	H30	R 元	R2	R3	合計			
872	880	1,365	1,553	1,547	1,712	13,259			

* 令和3年末までの実績

3 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管

(1) 消防学校における講習の実施状況（講習修了者数）（単位：人）

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	合計
56	81	85	81	83	82	72	82	—	622

* 平成27年度以降に実施の救急救命士試験合格者は、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管に係る追加講習を受講する必要なし

(2) 病院実習の実施状況

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	合計
18	42	53	63	75	90	77	44	33	495

* 令和3年末までの実績

* 令和2年度及び令和3年度の認定証交付状況は資料3-2のとおり

(3) 運用実績

① 運用隊数・運用人数 155 隊 403 名

② 気管挿管症例数

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	合計
4	26	26	43	43	51	54	84	143	474

* 令和3年末までの実績

4 静脈路確保及びブドウ糖溶液投与等

(1) 消防学校等における講習及び実習の実施状況（平成27年度から実施）

項目	内容
実施日	令和3年11月30日(火)～3日(金) 4日間(計1回)
実施場所	静岡県消防学校
受講者	54人
実施概要	1講習(4日間) 27時限 (座学9時限、実技17時限、筆記及び実技試験1時限)

* 平成27年度以降に実施の救急救命士試験合格者は、静脈路確保及びブドウ糖溶液投与等に係る追加講習及び実習を受講する必要なし

* 一般財団法人救急振興財団が行う指導救命士養成研修、処置拡大追加講習でも実施

(2) 認定の状況

H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	合計
1	101	98	96	92	95	63	54	600

* 令和3年末までの実績

* 令和2年度及び令和3年度の認定証交付状況は資料3-2のとおり

(3) 運用実績

① 運用隊数・運用人数 178 隊 751 名

② 気管挿管症例数

H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	合計
0	9	138	391	776	741	802	961	3,818

* 令和3年末までの実績

5 指導救命士

(1) 認定の状況

項目	内容
資格要件	(1) 救急救命士として、通算5年以上の実務経験を有する者 (2) 救急隊長として、通算5年以上の実務経験を有する者 (3) 特定行為について、一定の施行経験を有する者 (4) 医療機関において、必要とされる病院実習を受けている者 (5) 消防署内の現任教育、講習会等での教育指導、学会での発表など、教育指導や研究発表について指導・発表経験を有する者 (6) 必要な養成教育を受けている者 (7) 所属する消防本部（局）の消防長及び地域メディカルコントロール協議会（以下「地域協議会」という）長が推薦し、県協議会が認める者
認定者	令和4年1月末 60人

* 令和4年1月時点における養成教育機関は、救急救命九州研修所、若しくは消防大学校

* 令和2年度及び令和3年度の認定証交付状況は資料3-2のとおり

6 今後の講習実施計画等

- 平成23年8月の告示改正により、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管内チューブによる気道確保の実施が可能になったことから、追加講習を平成25年度から5年計画（延長2年・計7年）で開始。これまでは県消防学校で実施してきたが、令和3年度からは地域メディカルコントロール協議会で実施。
- 救急救命士の更なる業務拡大として、「心肺機能停止前の静脈路確保と輸液の実施」及び「血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」について、追加講習を平成27年度から開始、令和3年度で終了。

気管挿管及び薬剤投与等 認定証交付状況

資料3-2

○認定証交付状況

(人)

消防本部名	1. 気管挿管		2. ビデオ喉頭鏡		3. 静脈路確保等		4. 指導救急救命士	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
下田消防本部					3	3	1	
駿東伊豆消防本部	2	2	9	1	3		2	
富士山南東消防本部		1		1	7			
熱海市消防本部	2		1	1				
富士市消防本部	1	2	2	2	3			
富士宮市消防本部	1	2	2	2				
御殿場・小山消防本部		1		1				1
静岡市消防局	4	1	8	7	14	29		1
志太消防本部	2	2	2	2	8	7	1	
掛川市消防本部	1		2	2	3	1		
御前崎市消防本部		2						1
菊川市消防本部		1	1	1	2			
磐田市消防本部	2	1	4	4	1			
袋井消防本部	1	1	2	3	4			
浜松市消防局	6	4	7	4	13	13		
湖西市消防本部	2	1	4	1	2	1		
計	24	21	44	32	63	54	4	3

※令和3年度の認定証交付実績は、12月末まで

(参考: 病院実習受入状況)

(人)

医療機関名	気管挿管		ビデオ喉頭鏡	
	R2	R3	R2	R3
国際医療福祉大学熱海病院	2		1	1
伊東市民病院	1	1	2	
静岡医療センター	1	3	7	3
富士市立中央病院			1	
富士脳障害研究所附属病院	2	4	3	4
静岡県立総合病院	2		3	
清水厚生病院				5
島田市立総合医療センター	4	3	7	4
中東遠総合医療センター	2	1	5	5
磐田市立総合病院	2	1	4	4
聖隷浜松病院	8	5	11	5
浜松医科大学病院		3		1
計	24	21	44	32